



性感染症とデートDVについて学びました ～いのちの教育～

13日(水)、「いのちの教育」を実施しました。これは、生命の尊さを理解し自他共に命を大切にすることや、男女相互の理解について学ぶ授業です。今回は、助産師の松本美津子先生を講師にお招きし、「性感染症とデートDV」という演題で講義をしていただきました。

性感染症については、感染症の種類や症状、感染の経路などを詳しくお話しいただくとともに、感染を防ぐためにはどのような考え方や行動、対策が必要か教えていただきました。

またデートDVについては、DVにも様々なパターンがあることや、互いに平等な立場であることを意識することの大切さをお話しいただきました。生徒たちは具体例を交えたお話で、自分事として捉えることができましたようです。



今年もたくさん採れました!



14日(木)、ひまわりの種の収穫を行いました。今年は例年になく暑い夏だったせいか、昨年に比べると花の部分が大きいただけでなく、雀などの食害も防ぐことができ、収穫量も期待できそうです。今後2週間ほどしっかり乾燥させ、種を取り出します。たくさんの種が採れるといいですね。



(種を雀から守ってくれたおかげで、こんなにたくさん)

お年寄りに敬意を表して ～敬老の日～

9月18日は敬老の日ですね。みなさんの家庭でも、何かしらお祝いやプレゼントを贈ることを計画しているのではないのでしょうか。そもそもこの敬老の日の起源は? 正確にはわかっていないようですが、言い伝えとして以下の2つの説が有名です。

- 1 聖徳太子が現在の大阪市に悲田院(ひでんいん)という身よりのない老人や病人、貧しい人たち救うための施設を開いた日にちなんで制定されたという説。
- 2 717年、元正天皇が年号を「養老」とし、養老の滝に御幸した日、または高齢者に贈り物をした日であるという説。

現在の敬老の日の由来は、1947年兵庫県多可郡野間谷村(現在の多可町)の門脇政夫村長が提唱した「としよりの日」が始まりとされています。当時、村では「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という主旨のもと、農閑期に当る気候も良い9月中旬の15日を「としよりの日」と定め、敬老会を開くようになりました。これが1950年からは兵庫県全体で行われるようになり、1954年には国民の祝日として制定され、全国で祝うようになりました。しかし、「としよりの日」という呼び方はどうにかならないか」という声が各方面からあがり、「老人の日」にいったん改名されました。

やがて「国民の祝日法」が改正されることとなった1966年、「建国記念の日」「体育の日」と共に国民の祝日と制定された際に、現在の「敬老の日」と名称が改められました。その後、平成13年にハッピーマンデー制度の施行に伴い、日程が変更され現在の「9月の第3月曜日」となったのです。

みなさんは、日頃学校の送迎などで、何かとおじいちゃんやおばあちゃんにお世話になることが多くありませんか? 敬老の日は「いつもありがとう」と感謝を伝えてみてはいかがでしょうか。



< 次週の予定 >

18	月	敬老の日
19	火	週末課題テスト(理科③) ダンス練習(16:00~17:00)
20	水	家庭科幼稚園実習(3・4校時) Tタイム(実力テスト対策)
21	木	
22	金	週番引継会 ダンス練習(16:00~17:00)



◇◇ 今週の言葉 ◇◇

ここぞという場面で、
一歩踏み出す勇気が持てるくらい
普段から努力しておく。

～ 努力は、自信と勇気の源です ～

